

知財戦略プログラム

知財戦略プログラム

■ プログラムの特徴

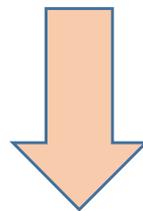
- 知財戦略科目群の履修、知財戦略ゼミでの研究指導により、知財分野の専門性を高める
- ビジネスロー関係の多様な科目の履修を通じて視野を広げる

■ 履修証明書（サーティフィケート）

- 知財戦略科目群のうち8単位の履修により、履修証明書（サーティフィケート）を付与

知財戦略プログラム：サーティフィケート取得要件

- BL専攻修士課程の修了要件を満たしていること
- プログラム修了時に知財戦略ゼミに登録していること
- 講義科目22単位以上のうち、**知財戦略科目群**から**8単位以上**修得していること



修士（経営法）の学位に加えて
知財戦略プログラムのサーティフィケートを授与

知財戦略プログラム：知財に関連する多彩な科目

知財基本科目

著作権法 / 特許法

知財発展科目

商標法・不正競争防止法 / 意匠法 / ライセンス契約法 / デジタル時代の著作権法 / エンタテインメント法 / 知財侵害訴訟 / 特許出願戦略 / 情報法 / 情報セキュリティと法制度 / アジアの知的財産法 / 中国知的財産法 / 国際知的財産法

ビジネスロー科目

コーポレート・ガバナンスと法 / M & A の法務（国内法務） / M & A の法務（M & A 契約） / 競争政策と法 / ビジネス紛争処理法 / 雇用関係と法 / 企業課税 / ベンチャー企業と法 etc.

GBL科目

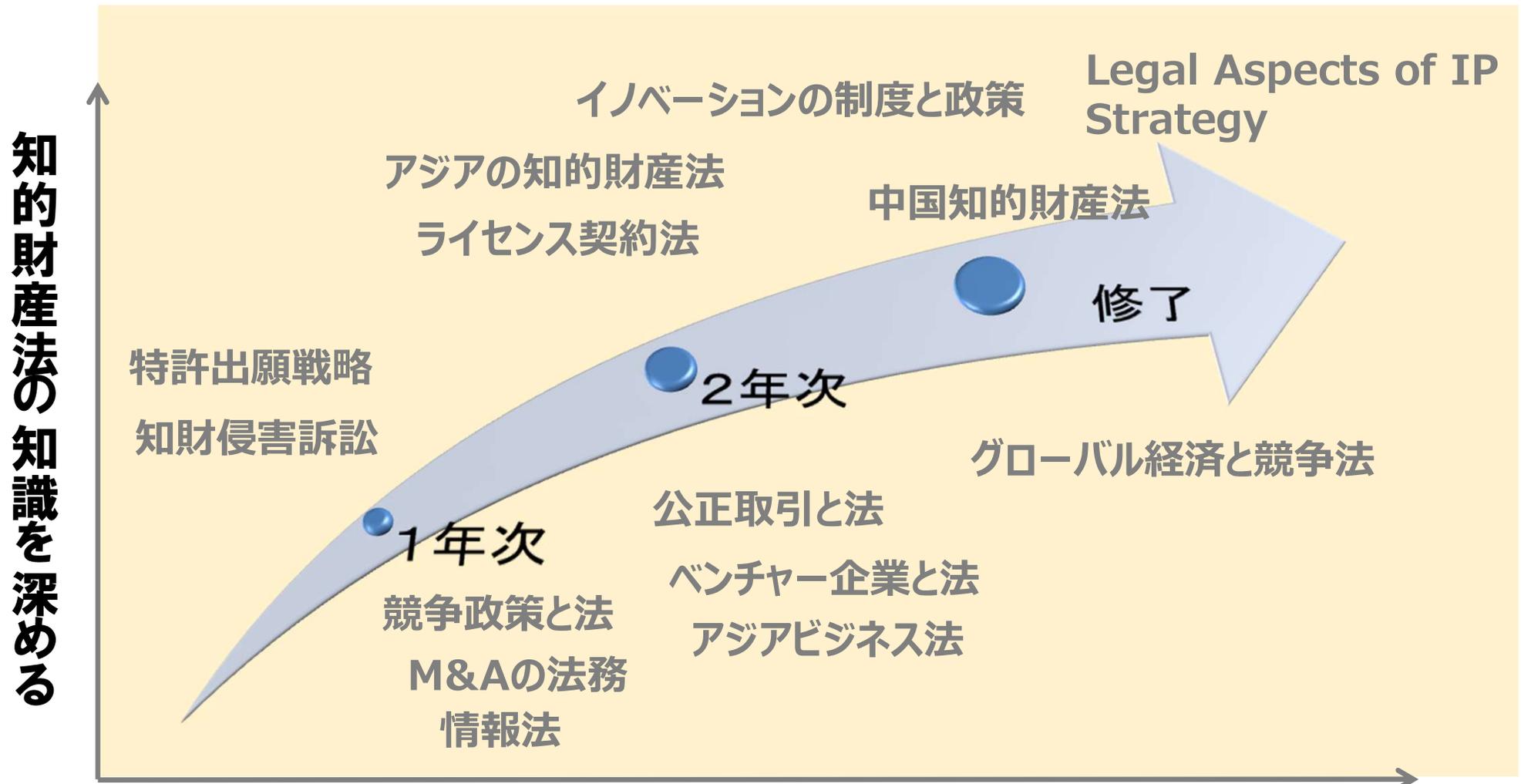
国際法務戦略 / グローバル経済と競争法 / アジアビジネス法 / International Entertainment Law / Legal Aspects of IP Strategy / EU環境・ビジネス法 etc.

MBA講義科目

IMPP(イノベーションマネジメント・政策)プログラム科目

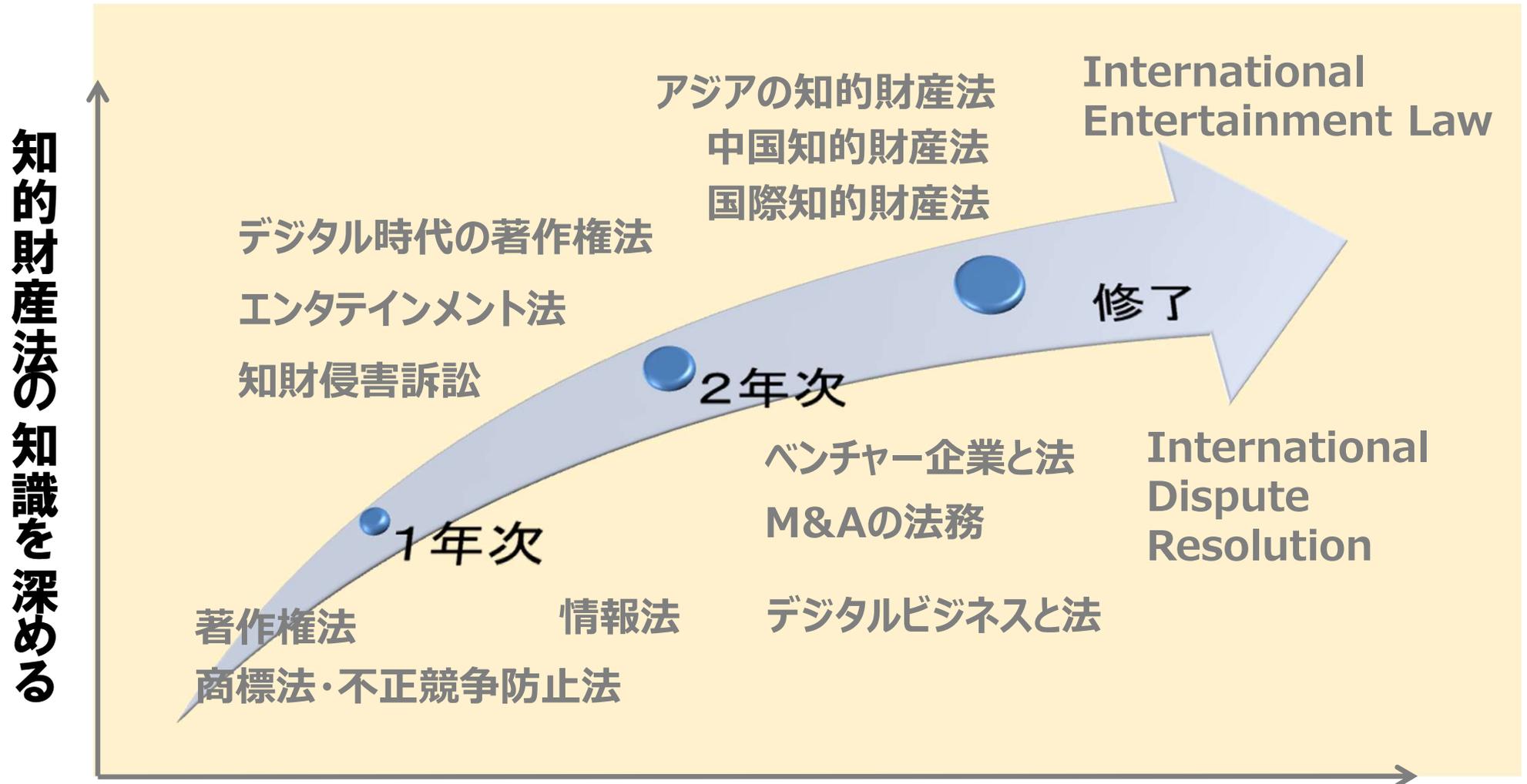
知財戦略プログラム：履修モデル

幅広い知識をもつ**特許**のプロフェッショナルに



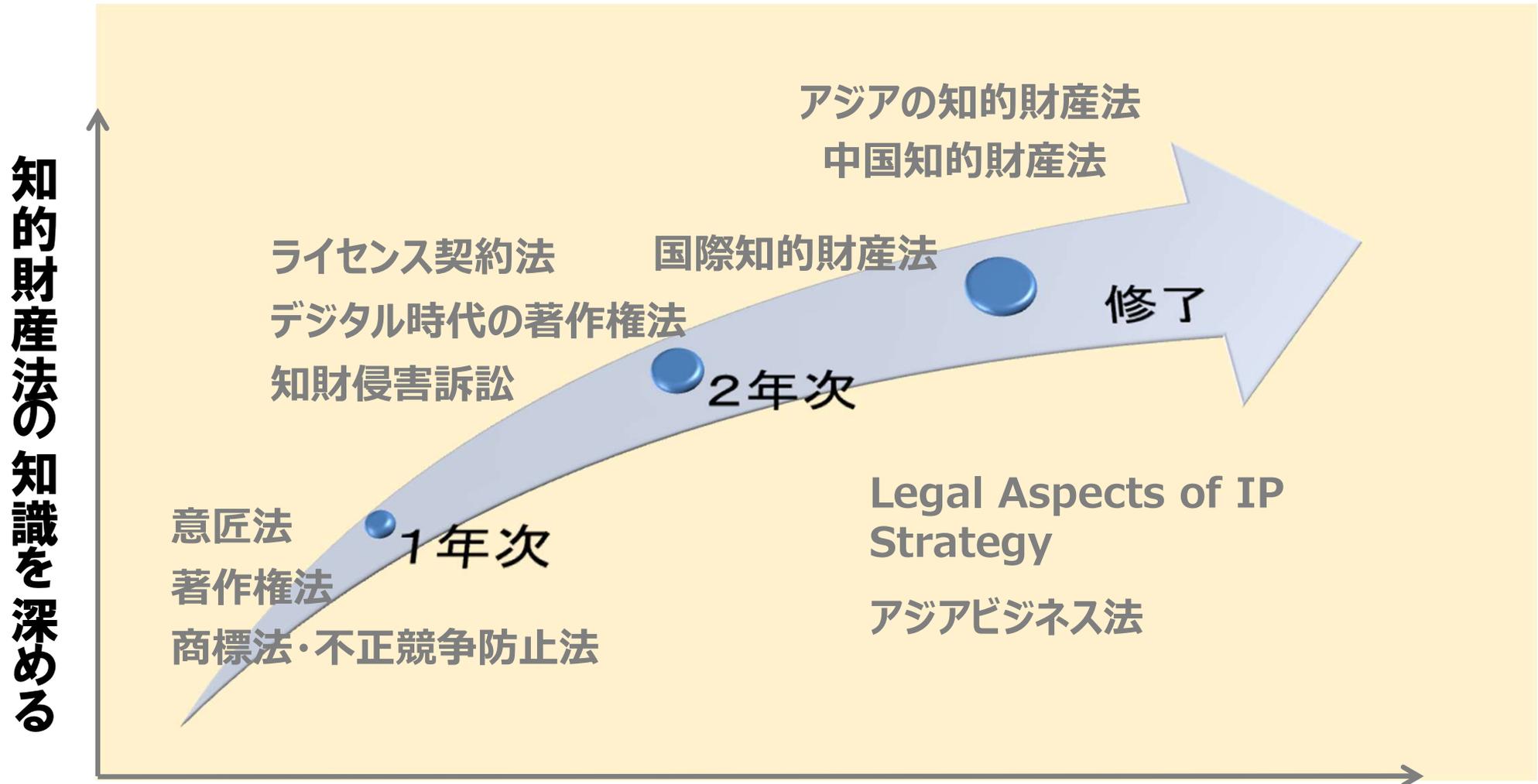
知財戦略プログラム：履修モデル2

エンターテインメント・IT系の知財に強いスペシャリストに



知財戦略プログラム：履修モデル3

ブランド・デザイン系の知財のスペシャリストに



知財戦略プログラム：論文タイトル

◆特許◆

- ・医薬品分野における特許存続期間延長制度
- ・技術標準化団体メンバーの Patent Pool・アウトサイダー化を抑制するための IPRポリシーに関する提言
- ・特許法102条改正の賠償額への影響に関する定量分析
- ・米国における複数当事者が実施に関与する発明の特許権侵害に関する研究
- ・プロダクト・バイ・プロセス・クレームの取扱いについて日欧の比較
- ・台湾における承認前特許紛争解決措置のあり方について
- ・ソフトウェア関連発明の進歩性判断における阻害要因及び顕著な効果の検討

知財戦略プログラム：論文タイトル

◆著作権◆

- ・無償著作物モデルのレコードメーカーへの展開
—無償著作物モデルの展開による楽曲流通の拡大についての研究
- ・クラウド・サービスに係わる著作権間接侵害の日中比較
- ・英国における著作者人格権の発展
- ・著作権における利用権の対抗要件制度とライセンス契約の地位承継に関する考察
- ・言語コーパス事業の著作権法上の問題についての一考察
- ・書籍の孤児著作物の効率的な利用を促進するための制度についての考察
- ・日米の職務著作制度の適用に関する比較研究
—個別労働関係との違いを中心とした分析
- ・グランドライツは誰がどのように管理すべきか

知財戦略プログラム：論文タイトル

◆ブランド・デザイン◆

- ・商品化権の法的根拠に関する一考察
- ・公序良俗を害するおそれのある商標に関する一考察
- ・模倣品の個人輸入の実態と必要な対策に関する考察
- ・店舗デザインの法的保護の可能性を探る
- ・表示画面上の画面デザインに関する保護：韓国と日本の意匠制度の比較研究
- ・キャッチフレーズや標語の商標法上の保護に関する一考察
- ・商標法26条に基づき効力の制限を受けるべき登録商標は本当に効力を喪失するのか — 現行審判制度の活用と新たな取消審判の観点から
- ・公益通報における通報者の保護のあり方に関する一考察
— 日米の営業秘密保護法制との関係を中心に —
- ・造形的思想の創作としてのデザインの法的保護 — 意匠とデザインの乖離をめぐって